

TNTsim3D で飛行経路を記録する

ご存知でしたか?... Advanced Flight Recorder スクリプトを使って、TNTsim3D でシミュレーション飛行した飛行経路を記録できます。

TNTsim3D で飛行経路を記録することで...

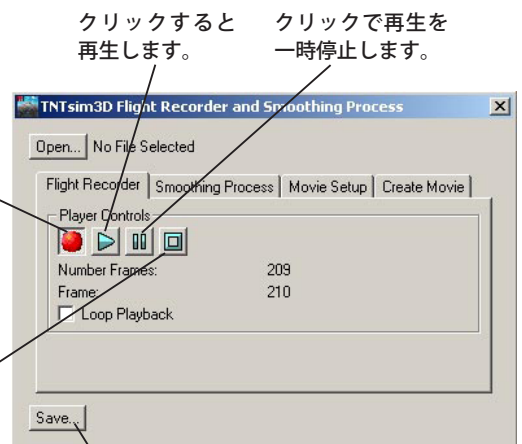
- 飛行の再生、および連続再生ができます。
- 現在の飛行経路をテキストファイルに保存できます。
- 保存した飛行経路を開いて、動画を作成したり経路を滑らかにできます。
- 新たに飛行経路を記録して直前の経路を置き換えることができます。

このスクリプトを選択して、〈TNTsim3D フライトレコーダーと平滑化処理 (TNTsim3D Flight Recorder and Smoothing Process)〉ウィンドウを開きます。



このボタンをクリックすると、飛行経路の記録が始まり、パネル上のグレー表示ボタンがアクティブになります。

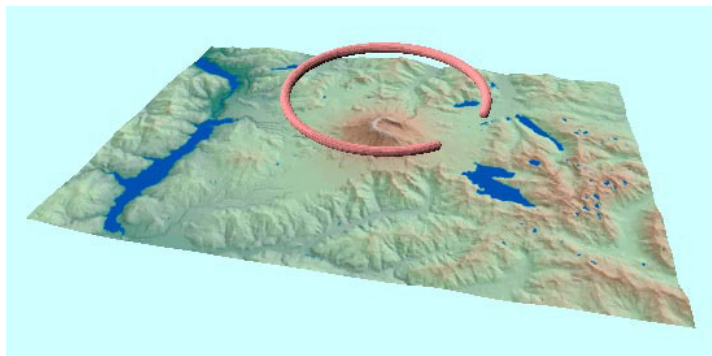
クリックして経路の記録を停止します。



クリックすると再生します。

クリックで再生を一時停止します。

クリックして、最後に記録した飛行経路をテキストファイルとして保存します。



左の図は、テキストファイルとして保存した飛行経路を表示したものです。テキストファイルを TNTmips の 3 次元ベクタラインとしてインポートして 3 次元グループに表示しています。

TNTsim3D で飛行経路を記録する方法

- Advanced Flight Recorder スクリプトを TNTmips の景観ファイルに保存します。
- TNTsim3D で、[ファイル (File)]>[開く (Open)] メニューもしくは [開く (Open)] アイコンをクリックして地理空間データを使った 3 次元シミュレーションファイル (*.sim) を表示します。
- [スクリプト (Script)] メニューから AdvRecorder を選択し、〈TNTsim3D フライトレコーダーと平滑化処理 (TNTsim3D Flight Recorder and Smoothing Process)〉ウィンドウを開きます。
- [フライトレコーダー (Flight Recorder)] タブパネルで、[記録 (Record)] ボタンを押します。
- TNTsim3D のメインウィンドウで 3D シミュレーションの操縦を開始します。飛行が終了したら、[フライトレコーダー] タブパネルの [停止 (Stop)] ボタンをクリックします。
- [保存 (Save)] ボタンを押して、飛行経路をテキストファイルとして保存します。

さらに知りたいことがあれば...

以下のテクニカルガイドをご覧ください：TNTsim3D：

飛行経路の平滑化
(Smoothing Flight Paths)

